

甲運小の皆さん改めましておはようございます。昨日の入学式で1年生63名が入学し、286名で、令和6年度の甲運小学校での生活がスタートします。

まず、1年生のみなさん、入学おめでとうございます。昨日の入学式では、しっかり話を聞くことができていました。大変立派でした。

2年生から6年生のみなさん進級おめでとうございます。一つ学年が進むことによって、その責任も増えてきます。

特に、6年生は学校の顔となります。いろいろな場面で、1年生から5年生にお手本を示し、後輩から「僕も、私も、あのような6年生になりたい」と思われる、憧れの存在として、甲運小の中心となり頑張ってもらいたいと思います。

さて、先生が春休みに、甲運小にはじめて来た際、職員室前の花壇にある石碑の言葉が目にとまりました。

そこには「希望」という2文字がありました。この言葉は甲運小の校歌の2番にも出てきます。

私にとってこの言葉との出会いがとても印象的だったので、この始業式で希望について話をしたいと思います。



希望とは、「何かを成し遂げたい」、「何かを達成したい」という強い気持ちです。希望や夢を持つことは、私たち自身を豊かにしてくれます。希望があるからこそ、私たちは努力し、つらいこと、くるしいことを乗り越えることができるのです。

皆さんは、どんな希望や夢を持っていますか？

まだ、希望がもっていない人もいるかもしれません。それはそれで構いません。これからいろいろな経験を通して、自分の希望を見つけたいと思います。

希望を持つためには、どうすればいいか。それは、まず自分の可能性を信じることです。自分ならできる、と信じることです。

また、失敗を恐れないことも大切です。挑戦することです。

失敗は成功のもとです。失敗から学ぶことで、私たちは成長することができます。

そして、なんと言っても、希望に向かって
頑張る姿があれば、周りの人は、皆さんを
応援してくれるでしょう。



私も、私の目標でもある学校教育目標
「子供たちが来たくなる学校」を目指し、頑張ります。
全校の皆さんの協力をお願いします。

それでは、新しい学期を、希望を持ってスタートしてください。
自分の可能性を信じて、努力を続ければ、必ず希望は叶います。
校長先生は、皆さんの希望と夢を応援しています。
以上、始業式の言葉とします。ありがとうございました。